

ブロッコリー



収穫時期は、11月中旬～3月中旬



芯までおいしく食べられるブロッコリー



温暖な気候を生かして栽培されている鹿屋産のブロッコリー

ビタミンやカロテン、食物繊維が豊富な緑黄色野菜として注目されているブロッコリーは、カリフラワールの原型であり、キャベツと同じアブラナ科で、原産地は地中海沿岸と言われ、イタリアでは古くから食べられていました。日本には、明治初期に伝えられましたが、普及し始めたのは、昭和40年代に入ってからで、本格的に栽培されるようになったのも、ここ30年、40年ほどの間です。

栽培しており、その収穫量は県内一を誇ります。鹿屋産のブロッコリーは、粒ぞろいが良く、固く締り、質がよいことから、市場でも高い信頼を得ています。また、平成14年度からは、下堀畑かんモデル地区の検証作物として導入され、栽培面積拡大による生産量増大に取り組みとともに、生産技術の向上が図られています。

【問い合わせ】

市農政課

0994-311117

インタビュー



情報を共有し安心・安全なブロッコリーを栽培

原園 博文さん(59歳) 野里町

小野原野菜園芸組合の加入と同時にブロッコリーの栽培を始めて15年。現在、5人の組合員と肥培管理・技術・農薬などの情報を共有しながら消費者が求める安心・安全な、そして、おいしいブロッコリーを栽培しています。

ブロッコリーは、寒波や降雨など気候に左右されやすいため、計画どおりに出荷することは難しいですが、管理を怠らなければブロッコリーにも気持ちを通じるのか、しっかり育ってくれます。

大事なものは、ブロッコリーが何を必要としているのか、常に考え、それに応えてやるのが、私たち生産者が忘れてはならないことですね。

データ

栽培面積 (ha)		収穫量 (t)	
出水市	58	鹿屋市	459
鹿屋市	41	出水市	209
志布志市	15	志布志市	194

第52次鹿児島農林水産統計年報 参照